おさかな瓦版 No.85 アミメノコギリガザミ

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産研究・教育機構
	公開日: 2024-03-19
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 水産研究・教育機構
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2001519

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.











シリーズ:エビ・カニ

第だい 9 回かい

アミメ ノコギリガザミ



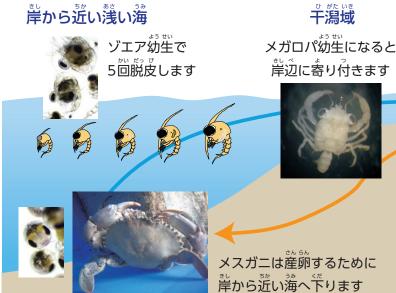
○ 1 アミメノコギリガザミ

~マングローブ林の特産品~

アミメノコギリガザミ(1)は、熱帯から亜熱帯の干潟、マングローブ林に生息するワタリガニの仲間です。ワタリガニの中では最も大型で、オスは重さが2.5キロを超えるものもいます。日本では、南西諸島と鹿児島県から千葉県付近までの太平洋沿岸に生息しています。

ここではマングローブ林に生意しているアミメノコギリガザミを例に、その生活史を紹介します。おとなのオスは、脱皮しそうなおとなのメスを見つけると、抱きかかえて守り、メスが脱皮すると交尾します(ロッポイント)。メスは交尾の後3~6か月くらいで産卵のため

にマングローブ林を出て沖合に移動し、海底の砂地で 300 ~ 500 万粒の卵を産んでおなかに抱えます。水温 28℃で約 10 日間後に幼



├ アミメノコギリガザミのふ化から親ガニに



あんじい: ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

メスを独占して子孫をつなぐ



じゃ。おとなになったメスは、脱皮道後にしか交尾ができないのじゃ。そこで、彼い甲丸と強力なはさみを持ったオスは、メスが脱皮する何目も前からメスを抱えて、メスが脱皮すると交尾するのじゃ。こうして、小さな冷がつながれていくのじゃよ。

生がふ化します。ふ化した幼生は"ゾエア"といいます。かんが生は"ゾエア"というにからいます。であるトゲが特徴があるのである。一切ではいます。である。このではいいます。このではいいます。このではいいます。このではいいます。このではいいます。これから約15日



② 2 市場で売られているようす (那覇市牧志の公設市場にて)



③ 3 マレーシアで養べたア ミメノコギリガザミ のカレーいため

後までに5回脱皮すると、次の成長段階である"メガロパ"と呼ばれる、はさみを持った幼生へ変態します。この頃には干潟などの浅瀬で生活します。メガロパになってから約7日

マングローブ林

稚ガニになって マングローブで生活します

アミメノコギリガザミ は、東南アジアの国々や 沖縄県で高級食材として1キロあたり5~6 一円で売られています(② 2)。東南アジアでは、辛いチリソースやカレーなどでいためて(③ 3)、沖縄県ではゆでガニや蒸しガニ、カニそばなどにして食べられます。

東南アジアでは、天然のおとなのカニを漁獲して売るだけではなく、天然の稚ガニを捕獲して大規模な養殖が行われています。水産研究・教育機構は、天然の稚ガニに頼らない養殖を可能とする、アミメノコギリガザミの完全養殖技術の開発をめざしています。将来

(清水 智仁)

なるまで



カニをまるごと食べる

脱皮直後の甲蘿のやわらかいカニのことを"ソフトシェルクラブ"といいます。ソフトシェルクラブ養殖に使われるカニは、アミメノコギリガザミを中心に数種類います。脱皮したてのカニは、食べられない自などを除去したらすぐに冷凍され、世界中へ輸送されます。







研究所に遊びに来てね!

前号に引き続き、研究所の一般公開のお知らせです。

クイズやゲーム、いろいろな体験コーナーで楽しく海や魚のことを学べるチャンスです。ぜひ 遊びに来てね。

くわしくは水産研究・教育機構ウェブサイトをご覧ください。

一般公開の スケジュール

10月13日(土) 中央水産研究所 横浜庁舎 (神奈川県横浜市)

ウェブサイト ▶ http://nrifs.fra.affrc.go.jp/

10月13日(土) 日本海区水産研究所 新潟庁舎 (新潟県新潟市)

ウェブサイト ▶ http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/

10月21日(日) 西海区水産研究所長崎庁舎(長崎県長崎市)

ウェブサイト ▶ http://snf.fra.affrc.go.jp/

11月10日(土) 水産工学研究所 神柄广舎 (茨城県神栖市)

ウェブサイト ► http://nrife.fra.affrc.go.jp/

国際水産資源研究所 清水庁舎 (新聞県新聞市) 11月17日(+)

ウェブサイト ► http://fsf.fra.affrc.go.jp/

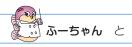
■昨年の一般公開のようす











ふっくん: あんじい仙人のもとで修行している研究賞です



へんしゅう はっこう こくりつけんきゅうかいはつほうじん すいさんけんきゅう きょういくき こう編集・発行:国立研究開発法人 水産研究・教育機構

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3 クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702 ウェブサイト http://www.fra.affrc.go.jp/

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のこ とでわからないことがあったら、広報課までハガ キを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、 <佐所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくん が「なんでもコーナー」でお答えします。







